

■阿部忠秋 老中。小姓役以来、松平信綱と並んで家光側近を務め、伊達政宗と張り合った個性豊かな人物。

あべただあき

東本願寺創建1602＝ 江戸で、旗本阿部忠吉の次男に生まれる。母は松平康高の娘。

琉球使始・・1610＝ 8歳：松平信綱とともに、小姓役となって、徳川家光に仕え、
山田長政渡航1611＝ 9歳：

徳川家康没・1616＝14歳：

家光を囲む夜咄の際、招かれた伊達政宗の異風を上回る装束で臨み、政宗の冷やかしを、脇差に手をかけて睨みつけたほどの、個性と豪胆さを示し、

秀忠娘入内・1620＝18歳：

徳川家光將軍1623＝21歳：*家光が將軍につくと、小姓組番頭に拔擢され、従五位下豊後守に叙され、1000石が与えられる。

伊予断交・1624＝22歳：家督を相続し、加増分と合わせて、1万石の大名になる。

紫衣事件・・1629＝27歳：1万5000石。

徳川秀忠没・1632＝30歳：

鎖国令Ⅰ・・1633＝31歳：*秀忠が死去すると、六人衆に任命され、近習出頭人として幕政に参画、老中並、松平信綱とともに別格で、次第に土井利勝ら秀忠以来の老中を棚上げしながら、家光政権の確立に尽力、幕政の中心的存在となる。

参勤交替始・1635＝33歳：下野壬生藩主となり2万5000石、_老中に進み、以後、31年間在任する。

島原の乱終・1638＝36歳：

鎖国令Ⅴ・・1639＝37歳：忍藩に移封5万石。この前後に、_江戸周辺の城に家光政権の老中らが入城、政治的にも軍事的にも幕府を支える体制を確立した。

・・・・・1647＝45歳：6万石。

御蔭参流行・1650＝48歳：家綱の傅役。

徳川家光没・1651＝49歳：*家光が死去した際、殉死せず非難されるも、松平信綱と幼少の將軍家綱を盛り立て幕政を運営するが、

酒井忠清ら門閥譜代層が幕政に進出し、次第に家光以来の政治理念の変更を余儀なくされ、

・・・・・1656＝54歳：

明暦の大火・1657＝55歳：

松平信綱没・1662＝60歳：_僚友の松平信綱が死去すると、幕閣内で孤立。

殉死の禁止・1663＝61歳：8万石となるが、

諸宗寺院法度1665＝63歳：*老病との理由から勤務を免除され、

酒井忠清大老1666＝64歳：_老中を辞職。

・・・・・1671＝69歳：ようやく致仕を認められ、養子の正能に家督を譲る。

この間、病状が悪化し、

・・・・・1674＝72歳：

談林派俳諧・1675＝73歳：_没した。

遺言で、日光の家光廟の脇に分骨を埋葬。捨子を育てたり牢人を保護するなど、清廉篤実な人柄で人望が厚かった。才気走った松平信綱とよく比較され、信綱をたしなめる逸話が多い。